

第4回スポーツ振興計画検討部会（平成21年10月21日開催）での意見とその対応方針（案）

【議事の(2)：計画策定の基本的な考え方について】

	部会での主な意見	対応方針（案）
1	「1 計画策定の趣旨」のところで、「今後とも」という表現があるが、新しいスポーツ王国ということから言うと、「今後とも」というと今までと変わらず、今後も同じようなことをし、ただ一層効果的に推進するということになる。そこは「今後は」という表現に直せないか。	「今後は」に修正する。
2	いろいろな計画で障害者の「害」を最近はひらがなで書くことが増えているように思うがその辺は大丈夫か。	上位計画となる第5次広島市基本計画は、障害者の「害」を漢字で表記しているが、国等の動向も踏まえ検討する。

【議事の(4)：計画の基本理念等について】

	部会での主な意見	対応方針（案）
1	<p>図の四つの筒が一つになるというのは、あまり目新しいものではない。スポーツ政策はどちらかというと、予算をつけていくのは二番手三番手だと思うが、そうした時にせっかく作った計画の実現性で考えると、総合計画のように他の分野と一緒に実施するようなものであると可能性が高いと思うので、他の分野とセットになりやすいような基本理念の書き方がいいと思う。</p> <p>例えば、概念図の4つの筒の矢印の先の部分は、「人が輝く新たなスポーツ環境の充実」「笑顔あふれるスポーツによる活力ある都市の創造」などに変えることもできるのではと思う。</p>	本審議会での意見等を踏まえ、検討する。
2	<p>施策の分類の仕方については検討した方がいいかもしれない。4本柱の束ね方、あるいは束ねる力は何かと考えたとき、「スポーツが好き 笑顔が好き 広島が好き」というこの3つの力が束ねる力になるのではないかとと思う。</p> <p>「スポーツが好き」は、好きになるには何が必要なのかという視点で、「笑顔が好き」は、仲間づくりやボランティア、共に支えるといった視点で考える。それらが平和と結びついて「広島が好き」ということに発展していくと思う。</p>	本審議会での意見等を踏まえ、検討する。

【議事の(5)：推進施策について】

	部会での主な意見	対応方針(案)
1	<p>学校における指導者の問題が非常に深刻である。地域にたくさん指導者はいるが、上手く活用できていない。</p>	<p>推進施策「「広島市立学校スポーツ活動支援人材バンク」の充実」の内容に、学校のニーズに応じて外部指導者の協力が得られる環境整備に関することを盛り込む。</p>
2	<p>「学校における体育・スポーツの充実」を見ると、現在の取組を「継続」というものが多いように思うが、次へのステップを検討する必要がある。</p>	<p>各推進施策の内容に、体育・スポーツの振興に向け既存事業を充実する内容を盛り込むとともに、新規事業についても、学校のニーズを把握しながら盛り込めるかどうかを検討する。</p>
3	<p>学区体育協会は、小学校では指導することができるが、中学校では難しい面もある。どうやって上手に橋渡しをしていくのかということも振興計画の中に盛り込めるのではないかと。</p>	<p>推進施策「学区体育協会の活性化」の内容に、学校との連携強化に関する内容を盛り込むとともに、推進施策「運動部活動の活性化」の内容に、学区体育協会との連携強化に関する内容を盛り込めるかどうかを検討する。</p>
4	<p>すべての人にスポーツを身近に感じてもらうことが大切である。「チャンスとしての場所づくり」つまり身近な体力づくりの場や誰もが参加できる大会が必要である。</p>	<p>推進施策「市民が主体となって行うスポーツイベントや市民団体と連携したイベントの実施」や「障害者・健常者が共に楽しめる行事の開催」の内容に、スポーツ・レクリエーションフェスティバル等により多くの市民が参加できるよう実施内容を工夫することなどを盛り込むことにしている。</p>
5	<p>10年先にオリンピックを開催するという事は、計画の基本理念に近づくような形が出てくるのではないかと。手づくり、あるいは我々ができる範囲でのオリンピックが検討されるのではないかと。思う。</p> <p>全体的な方向についても、10年先は自分たちがスポーツの準備をし、自分たちが実施し、そして次につなげて継続していくようなスポーツ環境というものを作っていくかなくてはならないと思う。市民レベルの、手作りレベルのイベントなど自分たちで作っていく姿勢が感じられればよい。</p>	<p>推進施策「市民が主体となって行うスポーツイベントや市民団体と連携したイベントの実施」の内容に、市民団体と企画段階から連携し、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントの開催を盛り込むことにしている。</p>

	部会での主な意見	対応方針（案）
6	職場でのスポーツ・レクリエーションが結構盛んであるため、職域的な要素が入ればよいのではないか。	本審議会での意見等を踏まえ、検討する。
7	目標値の設定に当たっては、市民のニーズだけではなく、全国レベルよりもっと高くするなど野心的な、高めの目標数値を設定するべきではないか。	目標値の設定については、今後、重点施策の設定とあわせて検討する。
8	スポーツ少年団の子どもたちに、ボランティアとしてイベントに参加してもらってはどうか。	推進施策「スポーツ少年団の活動促進」の内容に、子どもたちがボランティア活動へ参加できるよう取り組むことを盛り込む。
9	もっと体育指導委員が活動する場を作ってほしい。	推進施策「体育指導委員活動の活性化」の中に、活動機会の拡充など活性化を図ることを盛り込むことにしている。
10	広島らしさをアピールするオリジナルのものが必要である。例えば、三世代が参加できるイベントなど。	推進施策「市民が主体となって行うスポーツイベントや市民団体と連携したイベントの実施」の内容に、広島らしさをアピールできるイベントの開催などに取り組むことを盛り込む。
11	まちの活力創出に向けたスポーツの振興の一つに、スポーツと平和に関する取組があればよいのではないか。	推進施策「オリンピックのあり方についての調査・研究」を拡充し、「オリンピックのあり方を含めたスポーツと平和に関する調査・研究」に修正する。